

会議記録（１）

会議名称	北本市指定管理者業務評価委員会（令和元年度）
開会及び閉会日時	令和２年１０月５日（月） 午後１時３０分から午後５時４５分まで
開催場所	北本市役所 会議室３－Ｂ
議長氏名	委員長：秋葉清
出席委員(者)氏名	大塚美津子、土屋雄一、深見勝彦
欠席委員(者)氏名	若山清和
説明者の職氏名	生涯学習課長：柳井志道　子育て支援課長：南豊 北本市体育センター：北本地域スポーツ振興共同事業体 サンアメニティ北本キャンプフィールド：株式会社サンアメニティ 各地区公民館等：一般社団法人北本市コミュニティ協議会 北本市文化センター：acTrC 北本ネットワーク 北本市立こども図書館：シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 北本市立児童館：シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 北本市地域子育て支援センター：シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 北本市学童保育室：特定非営利活動法人北本学童保育の会うさぎっ子クラブ
事務局職員職氏名	行政経営課長：佐藤慎也 同課事務管理担当GL：矢ノ川直登 同課事務管理担当主査：長谷川知亮
会議次第	1 開会 2 議事　令和元年度指定管理者業務評価 3 その他 4 閉会
配付資料	1 次第 2 北本市指定管理者業務評価委員会設置要綱 3 各施設の管理運営に関する管理運営評価表等

発言者	発言内容・決定事項
秋葉委員長 指定管理者	<p>ン、フラダンス、卓球などでは40～50歳代も含め幅広い参加がある。</p> <p>また、ミニバス、キッズチアなど、幼児を含む子供向けの教室事業を増やし、様々な年齢層を取り組む努力を続けている。</p> <p>夏場の熱中症対策はどのように行っているか。</p> <p>スポットクーラーや扇風機を活用し、対策を講じている。体調のすぐれない利用者にはクーラールームに移動していただいている。令和元年度は、重症化した事例はない。</p> <p>—所管課及び指定管理者退室後、評価— —A評価が5件、所見はなし—</p> <p>(2) サンアメニティ北本キャンプフィールド</p> <p>—所管課及び指定管理者から説明—</p>
秋葉委員長	<p>以上の説明に対し、何か質疑はあるか。</p>
土屋委員	<p>今回の評価対象期間から令和2年度にまたがる話だが、新型コロナウイルス感染拡大の影響はどのような状況か。</p>
指定管理者	<p>令和2年2月29日の施設休止以降は、ほぼ返金の対応が続いた。6月から施設を再開したが、以前と比較して利用を敬遠されてしまっている状況だ。</p> <p>バンガローを含むテントサイトは、19サイトのうち8サイトしか開けていない。</p> <p>かまど利用の際に密集状況が生じて利用者から苦情を受けることがあったため、当日の予約人数に応じてかまどの配置を変える対策を行っている。</p>
大塚委員	<p>台風19号来襲の際に避難所として施設を開放したとのことだが、混乱は生じなかったか。</p>

発言者	発言内容・決定事項
指定管理者	<p>職員が泊まり込んで待機したが、台風来襲時の避難者はいなかった。一方で、自家用車を退避させるために駐車場を利用したいとの希望は数台分あったため、そちらは御利用いただいた。</p> <p>台風が過ぎ去った後には、被害に遭われた一家族が一泊し、大広間（浴室）を御利用いただいた。</p>
深見委員	<p>10月の利用状況が前年度比4,096人の減である。台風の影響があったものと思うが、どのような理由か。</p> <p>大広間の利用料金収入が542,900円の減である。どのような理由か。</p> <p>法定福利費の支出が執行率205.8%となっている。どのような理由か。</p>
指定管理者	<p>過去の評価委員会で、オンライン予約の導入方針が示されていた。どのような状況か。</p> <p>10月の大幅な利用減については、開催を予定していたキャンプ祭りが台風の影響で中止になったことに起因するものと考えられる。</p> <p>大広間の利用料金収入の減については、夏季に大広間のエアコンが故障し営業を休止したことによるものである。</p> <p>法定福利費については、5年間の指定管理期間策定時の当初の予算立て見込みが甘かったものと認識している。</p> <p>オンライン予約については、一旦システムを導入したものの、当社が求める仕様を最終的に満たすことができず、3か月程度で解約することとなった。具体的には、クレジットカード利用を伴う予約後にキャンセルされた場合、カード会社のルールにより返金されることとなるが、「北本市野外活動センター設置及び管理条例」の「既納の利用料金は、返還しない。」という規定に抵触してしまう。また、ホテルの予約システムのように個々にプラン設定をしなければサイト運用ができない仕様であったが、利用者には、複数のテントサイトをまとめてすばやく予約したいというニーズがある。一つ一つ予約するのは手間である上に、窓口予約とも競合（窓口では複数まとめて予約可能）するため、使い勝手がよくないという結論に至った。次善の策として、指定管理初年度か</p>

発言者	発言内容・決定事項
深見委員	<p>ら運用しているメール予約システムの利用料金支払い方法を増やし、利便性の向上を図る方針だ（ペイメントサービス等）。</p> <p>観光的な要素もある施設だと思う。所管課と協議しながら、近隣の都県からの利用も拡大できるように改善策の円滑な実現に向けて取り組んでほしい。</p> <p>－所管課及び指定管理者退室後、評価－ －A評価が5件、所見はなし－</p> <p>(3) 各地区公民館等</p> <p>－所管課及び指定管理者から説明－</p>
秋葉委員長	<p>以上の説明に対し、何か質疑はあるか。</p>
土屋委員	<p>平成31年4月3日に中丸公民館で受け付けた苦情への対応記録に「過剰な注意喚起による不快感を持たせてしまった」との表現があるが、中丸公民館側が一方向的に責められるような状況だったのか。</p>
指定管理者	<p>ダンス活動にも利用可能な比較的硬い床で、フローリング木材部分には損傷がなく、塗膜部分のみの傷であった。</p> <p>大ごとにするような損傷ではなかったかもしれないが、何かを引きずったような跡があったため、再発防止のためには利用者への注意喚起が必要と考え、館長が出向いた。その際の対応が問題視され、苦情の申し入れを受けることとなってしまった。</p>
土屋委員	<p>複数の館の指定管理業務を担っているが、どの施設も老朽化が深刻かと思う。どの施設も同じ頃に開館したのか。</p>
指定管理者	<p>どの施設も開館から既に30年程度経過している。</p>
土屋委員	<p>施設の大規模改修は資本的支出であるため、指定管理者に</p>

発言者	発言内容・決定事項
大塚委員	<p>よる「管理」というよりも、市側の方針決定によって進めるべき部分だと思う。所管課を中心に、今後の方針をよく検討してほしい。</p> <p>指定管理者から、サロン事業に力を入れているという話があった。何かのサークルに入っているから施設を利用するという人はこれまでも多かったが、あそこのサロンに行けば誰かと話ができるということが地域に定着していけば、より幅広い利用を促すことができるだろう。大変よい取組だと思う。</p>
深見委員	<p>平成7年9月22日付けで、文部省生涯学習局長通知「社会教育法における民間営利社会教育事業者に関する解釈について」が各都道府県教育委員会教育長宛に発出されている。この中で、「公民館がその事業として、いわゆる民間営利社会教育事業者による営利目的の事業にその施設の使用を認めること」は差し支えないとする方針が示されている。</p> <p>また、中央教育審議会答申や全国公民館研究集会（公益社団法人全国公民館連合会主催）などにおいても、公民館は広く地域のために活用されるべきであるという方針がたびたび示されている。</p> <p>昨年度の委員会で、国のこうした方針について所管課（生涯学習課）ではどのように対応しているのか質問したところ、「生涯学習課所管の指定管理者で会合を持ち、解釈の確認と意見交換を実施いたしました。今後も随時指定管理者と会合を持ち、法の解釈等について合意形成を図ってまいります。」との回答があった。具体的にどのように対応しているのかを聞きたい。</p>
生涯学習課	<p>関係通知等を踏まえて対応している。公民館については、地域社会の中の居場所づくりや共生社会の基盤として積極的に活用していきたいと考えている。</p>
深見委員	<p>指定管理者からは、社会状況の変化を踏まえて事業を工夫しているという説明があった。現行の貸館判断基準は、国や県の方針を反映したものとなっているのか。</p>

発言者	発言内容・決定事項
指定管理者	<p>貸館判断基準は生涯学習課と協議して平成26年度に作成し、その後改定を行ってはいるが、基本的な流れとしては当初から変わっていない。</p> <p>しかし、国は、公民館と地域の関係を幅広く捉え始めている。指定管理者としても、受け身の貸館業務ばかりではいけないという認識を持っている。コロナ禍により公民館利用が減っている現状も踏まえ、地域の集会所に向いて事業を実施するなど、地域のニーズに的確に応えていきたいと考えている。</p>
深見委員	<p>現行の貸館判断基準は時代錯誤のものとなっているように思う。生涯学習課と協議し、今の世の中に合ったものにしていく必要があると思う。</p>
生涯学習課	<p>時代の要請や地域の要望を踏まえ、研究していきたい。</p> <p>－所管課及び指定管理者退室後、評価－ －A評価が4件、B評価1件－ －協議の結果、A評価で決定 所見は次のとおり－</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国・県の審議会の答申、提言等を踏まえ、時代に合った、より市民が利用しやすい施設となるよう所管課及び指定管理者が協力して貸館判断基準の見直しを進めること。 <p>(4) 北本市文化センター</p> <p>－所管課及び指定管理者から説明－</p>
秋葉委員長	<p>以上の説明に対し、何か質疑はあるか。</p>
土屋委員	<p>文化センター所長は、市の職員か。</p>
指定管理者	<p>所長を含め、文化センターの全ての職員が指定管理事業者の職員である。</p>
土屋委員	<p>コロナ禍において、他自治体と比較して、北本市文化セン</p>

発言者	発言内容・決定事項
指定管理者	<p>ターは利用人数制限が厳しいように思う。第1・2会議室は、定員の3分の1しか利用ができないようだ。</p>
指定管理者	<p>近日中に、制限を定員の2分の1に緩和する予定。生涯学習課と協議中である。</p>
大塚委員	<p>中央図書館の青少年サービスのうち、防犯のため学習コーナーにミラーを設置したとのことだが、そのような対応に至った経緯を確認したい。</p>
指定管理者	<p>学習コーナーで置引未遂や盗撮未遂の行為があった。受付からの死角を無くすための対策の一つとして、ミラーを取り付けた。</p>
大塚委員	<p>単に管理を厳しくするような意図ではなく、学習をする利用者を守るための必要な対応だと理解できた。</p>
深見委員	<p>施設停電時の回復に長時間かかったことに関して、高圧受電設備の更新をしていたら自動で復旧が出来る。受電設備の更新は20年が目安となっている。当施設はいつ更新したのか。</p> <p>復旧までの時間の短縮や委託料の節減等の観点から、設備更新をすれば、広域停電の際の復旧作業を関東電気保安協会に委託する必要はない。そうした点の対応状況はいかがか。</p> <p>次に、モニタリング項目6-2のコメント部分に、省エネ活動推進のために東急コミュニティー本社のバックアップを受けた旨の記述があるが、どのようなバックアップか。</p> <p>次に、図書館システムの更新費はどこで計上されているのか。</p> <p>最後に、貸館利用実績で利用率を算出し資料に記載したのはよいことだと思う。昨年度にこの点を指摘した私の真意としては、曜日、午前・午後・夜間のどの時間帯が利用率向上のための伸びしろがあるかをしっかりと把握してほしいというものだ。伸びしろとなる時間帯の把握も含め、利用率向上のためにどのように取り組むのか、説明してほしい。</p>

発言者	発言内容・決定事項
生涯学習課 指定管理者	<p>高圧受電設備の実績については、確認をしたい。</p> <p>光熱水費を抑えるため、本社の専門の検討チームを招請した。意見交換を行った上で、例えば、空調設備を使用する時間をスタッフ全員で記録し見える化することで、使用節減に取り組んだ。空調が不要な時季には開館前に朝一で窓を開け外気を取り込む等、空調を可能な限り使わないようにした。ただし、利用者から要望があった場合や、特に暑い日などは、こうした取組の例外と考えている。</p> <p>図書館システムの更新やリース代については市の負担であるため、本資料には出てこない。</p> <p>利用率、稼働率の向上に向けた取組の一つとしては、館内で利用可能な Wi-Fi の導入や、パソコン利用を想定したコンセント環境の整備が挙げられる。目下、生涯学習課と相談中である。今後実施する施設利用者アンケートにおいても、Wi-Fi 導入等についての設問を加える予定だ。</p> <p>例年、閑散期は5月のゴールデンウィークや夏のお盆の時期である。そこを狙って、各種のイベントを組んでいる。例えば、ゴールデンウィークには、子ども劇場フェスティバルやリコーダーフェスティバル。夏のお盆の時期には、くらし安全課と協力して企画した防災訓練コンサート（ホールコンサート中の災害発生に伴う観客避難を想定した防災訓練）を開催した。そのほか、時間帯の面では、どの自治体の類似施設においても17時以降の夜間に稼働率が低下する傾向がある。そのため、17時スタートのお月見演奏会やプラネタリウム関係の夜間開催イベントを企画し、夜間利用の誘因を図った。</p>
深見委員	<p>収支状況を見ると約2,500万円の本社管理費が計上されているが、この内訳はどのようになっているのか。</p>
指定管理者	<p>主に人件費や、CSRの取組等に使われている支出である。主として管理している施設ごとに、各社それぞれの基準に沿って算定し、合算したものだ。</p>
深見委員	<p>せめて経費、利益の別が金額としてわかるようにしてほしい。</p>

発言者	発言内容・決定事項
	<p>い。それらを全て合算して約 2,500 万円という大きな金額を出されても実態がわかりにくく、評価し難い。</p> <p>また、これは生涯学習課に対しての要望であるが、利用率向上のため、現行の貸館判断基準を見直してほしい。そのために、指定管理者と適切な合意形成を図っていただきたい。</p> <p>— 所管課及び指定管理者退室後、評価 — — A 評価が 5 件 所見は次のとおり —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国・県の審議会の答申、提言等を踏まえ、時代に合った、より市民が利用しやすい施設となるよう所管課及び指定管理者が協力して貸館判断基準の見直しを進めること。 <p>(5) 北本市立こども図書館</p>
秋葉委員長	<p>— 所管課及び指定管理者から説明 —</p> <p>以上の説明に対し、何か質疑はあるか。</p>
深見委員	<p>図書館システムの入替にはいくらかかったのか。</p>
生涯学習課	<p>図書館システム移行関係経費は、合計 42,284,000 円（北本市図書館電算システム等賃貸借＜60 か月＞21,648,000 円、システム保守サービス＜60 か月＞7,524,000 円、図書館クラウド使用料＜60 か月＞8,712,000 円、移行データ抽出業務委託 4,400,000 円）である。</p>
大塚委員	<p>新規導入した非接触型 IC カードシステムについて説明してほしい。</p>
指定管理者	<p>iPhone 等のスマートフォンや Suica 等の電子マネーに導入されている FeliCa という技術様式を活用し、利用者データを媒体に記録することで従来の図書館利用券の代わりとして使用可能となるシステムである。まだ利用者数の伸びは鈍く、過渡期なのだろうという印象だ。1 枚のカードに更に色々な機能が集約できるようになればこども図書館でも利用登録者数が増加するものと思うが、利用の拡大に向けて広報に努め</p>

発言者	発言内容・決定事項
土屋委員	ていきたい。
指定管理者	こども図書館での新型コロナウイルス対策は、どのように行っているのか。
指定管理者	<p>公益社団法人日本図書館協会が示した基準に沿って、返却された本については水で拭き取りをし、専用の除菌ボックスに入れて隔離して再貸出まで24時間留め置いている。</p> <p>— 所管課及び指定管理者退室後、評価 — — A評価が5件、所見はなし —</p>
秋葉委員長	<p>(6) 北本市立児童館</p> <p>— 所管課及び指定管理者から説明 —</p> <p>以上の説明に対し、何か質疑はあるか。</p>
大塚委員	定員20名の学童保育室の利用がなかなか増えないようだが、どのように捉えているのか。
指定管理者	学童保育室の利用ニーズについては、一般的に、小学1～3年生の子を持つ保護者で高い傾向がある。通学する小学校からのバス移動を伴う当児童館の学童保育室の利用対象は小学3年生以降の子に限っているため、保護者のニーズとは一致していない部分があるものと考えられる。
大塚委員	事故対応の事例として、窃盗事件の報告があった。この加害者は常習性のある人物なのか。それとも、一時的な出来心での犯行だったのか。
指定管理者	<p>警察からは、常習性がある人物だと聞いている。当該人物は、その後一度も来館していない。</p> <p>— 所管課及び指定管理者退室後、評価 — — A評価が5件、所見はなし —</p>

発言者	発言内容・決定事項
秋葉委員長 大塚委員 指定管理者	<p>(7) 北本市地域子育て支援センター</p> <p>－所管課及び指定管理者から説明－</p> <p>以上の説明に対し、何か質疑はあるか。</p> <p>市内の保育園・幼稚園との交流や情報交換等はどのように行っているのか。</p> <p>本宿の子育て支援センターは東保育所の隣に位置しているため、東保育所のお便りに広報記事をたびたび載せていただいている。また、子育て支援センター発行のお便りを、子育て支援課に設置されているボックスを通じ市内の保育園・幼稚園施設に配布している。</p>
土屋委員 指定管理者	<p>アンケート結果を確認すると、非常に満足度が高い施設のような。広報手法に更に工夫を加え、利用者の増加に繋げてほしい。</p> <p>保育園・幼稚園のほかには、北本市文化センター、北里大学メディカルセンター、小児科のある医院、公民館等にポスターを掲示するなど、様々な施設で広報に協力していただいている。</p>
土屋委員 指定管理者	<p>市役所の窓口での直接の案内などは行っているのか。もしそうでなければ、利用が想定される年齢の子の保護者などに案内文書を直接郵送してもよいと思う。</p> <p>市役所では、窓口での出生手続や乳児（4か月児）健診の際に直接案内文書を配布していただいている。</p>
深見委員	<p>指定管理料の推移を確認すると、4年目から5年目にかけて500万円増加している。この理由は何か。</p>
子育て支援	<p>指定管理更新時、人件費を見直し、指定管理料に上乗せし</p>

発言者	発言内容・決定事項
課	<p>たものである。</p> <p>— 所管課及び指定管理者退室後、評価 — — A評価が5件、所見はなし —</p> <p>(8) 北本市学童保育室</p> <p>— 所管課及び指定管理者から説明 —</p>
秋葉委員長	<p>以上の説明に対し、何か質疑はあるか。</p>
大塚委員	<p>未納者への対処はどのような状況か。</p>
指定管理者	<p>以前と比較して、状況は改善している。</p>
深見委員	<p>人件費として人材派遣料が支出されているが、どのような理由からか。</p> <p>アンケート結果を確認すると、児童数の増に対して支援員等の人手不足が指摘されている。</p>
指定管理者	<p>ここ10年程で、学童保育室の利用者は200人程増えている。各施設当たりの利用者も増えているが、特に中丸学童保育室の状況はひっ迫している。アンケートには、そもそものキャパシティが小さく安全管理の目も行き届いていないとの指摘がある。他方で、人材の確保にも苦労している。人材派遣料の支出については、そうした状況を踏まえて人材派遣会社に派遣を依頼したものだ。</p>
子育て支援課	<p>利用者数の増大に対応するため、指定管理期間第3期（令和2年度～令和7年度）では、第2期（平成29年度～令和元年度）と比較し、指定管理料を大幅に増やした。そのほか、支援の単位を分割したり、小学校の余裕教室を提供していただいたりするなどの努力を続けているが、状況の変化に対応が追い付いていないのが現状だ。</p>
深見委員	<p>余裕教室の活用に取り組むべきだと思う。この件について</p>

発言者	発言内容・決定事項
<p>子育て支援課</p> <p>深見委員</p>	<p>て、教育部や学校との協議の状況はどのようになっているのか。</p> <p>中丸小とは継続的に相談の場を設け、余裕教室をどうにか確保することができた。それでもまだ不十分だと認識している。</p> <p>石戸学童保育室等、利用者数が多い所はほかにもあるが、各小学校と継続的に相談及び交渉を続けている状況だ。</p> <p>文部科学省や市の幹部は余裕教室の活用に前向きだが、結局は、学校現場とのすり合わせの問題だと思う。</p> <p>簡易的な施設を造ったとしても、良好な保育環境とはならないだろう。文部科学省も、余裕教室の活用を方針としている。子育て支援課においては、プレハブなどで新たな施設を造るなどせずに、既存の学校施設の活用を十分に働きかけてほしい。</p>
<p>子育て支援課</p> <p>土屋委員</p>	<p>学童保育室の利用者が増加している学校はそもそもの児童数も多いため、余裕教室が少ない傾向にある。調整が非常に難しい。</p> <p>「北本市公共施設マネジメント実施計画」に基づき栄小が廃校となった際には、栄学童保育室はどのような扱いとする予定なのか。</p>
<p>子育て支援課</p>	<p>栄小が廃校となっても栄学童保育室は残す方向で調整中だ。</p> <p>栄小の児童は、栄小廃校後には石戸小に通うこととなる。それまで栄学童保育室を利用していた児童には、栄学童保育室又は石戸学童保育室のどちらかを選択してもらう。混雑する石戸学童保育室の保育環境の更なる悪化を防ぐためだが、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大に対応する意図もある。</p> <p>－所管課及び指定管理者退室後、評価－ －A評価が5件、所見はなし－</p>

発言者	発言内容・決定事項
	<p>(9) 総括</p> <p>－これまでの各施設の評価及び所見を確認－</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきを証するためここに署名する。

令和 2 年 10 月 23 日 委員長 秋葉 清